

戦争の記憶

展示期間:令和2年7月18日～9月18日



今年には太平洋戦争終戦から75年という節目の年です。
戦争の記憶の継承が課題となっている今、手記や記録から当時の様相を探り、人々の様々な記憶をたどってみませんか。
また、戦時下の生活がわかる日記、雑誌などの資料も集めました。

※展示資料のうち、雑誌以外は貸し出しできます。カウンターまでお声がけください。



<手記・体験記>

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
1	教科書に書かれなかった戦争 [Part 1]	アジアの女たちの会編	梨の木舎	1983	21075/69/1	一般書庫
2	八月十五日の青春 大阪高等学校生(旧制)の手記	「八月十五日の青春」編集委員会編集	「八月十五日の青春」刊行会	1996	916/29	一般書庫
3	きけわだつみのこえ 日本戦没学生の手記	日本戦没学生記念会編	岩波書店	1997	916/38	一般書庫
4	平和への祈り 長崎・慟哭の記録	創価学会青年平和会議編	第三文明社	2003	916/43	一般開架
5	零戦、かく戦えり!	零戦搭乗員会編	文春ネスコ	2004	916/45	一般書庫
6	海なお深く 太平洋戦争船員の体験手記	全日本海員組合編	全日本海員福祉センター	2004	916/46	一般書庫
7	むかし、みんな軍国少年だった 小二から中学生まで二十二人が見た8・15	瀬戸 環編集	G.B.	2004	916/47	一般書庫
8	原子野からの旅立ち	女子パウロ会編	女子パウロ会	2005	916/49	一般書庫
9	ヒロシマ・ナガサキの思い、未来へ	いのちのこば社編	いのちのこば社	2005	916/51	一般書庫
10	敗戦60年随想録 日本の0年-昭和二十年八月十五日すべてはここからはじまる	日本随想録編集委員会編	歴研	2005	916/54	一般書庫
11	従軍看護婦たちの大東亜戦争 私たちは何を見たか	『従軍看護婦たちの大東亜戦争』刊行委員会編	祥伝社	2006	916/58	一般開架
12	遺言「ノー・モア・ヒロシマ」 未来のために残したい記憶	ヒロシマ青空の会編集	ヒロシマ青空の会	2004	916/60	一般開架
13	動員学徒「慟哭の証言」		広島県動員学徒等犠牲者の会	2007	916/61	一般開架
14	戦争体験刻む 新しい語り部をめざして	編集委員会[編]	草の根出版会	2007	916/62	一般開架

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
15	親と子が語り継ぐ満洲の「8月15日」鞍山・昭和製鋼所の家族たち	田上 洋子編	芙蓉書房出版	2008	916/64	一般開架
16	私にとっての戦争 体験者は語る平和のなかで	朝日新聞仙台支局編	宝文堂出版販売	1988	916/65	一般開架
17	戦争体験 朝日新聞への手紙	朝日新聞社編	朝日新聞出版	2010	916/72	一般開架
18	歌われたのは軍歌ではなく心の歌 語り残す戦争体験	日野原 重明監修	新日本出版社	2010	916/74	一般開架
19	国民の遺書 「泣かずにほめて下さい」靖國の言乃葉100選	小林 よしのり責任編集	産経新聞出版	2010	916/76	一般開架
20	人を殺して死ぬよとは 元兵士たちが語りつぐ軍隊・戦争の真実	不戦兵士・市民の会監・著	本の泉社	2011	916/80	一般開架
21	学生たちの太平洋戦争 国に捧げた青春の記録	熊谷 眞編著	夢工房	2011	916/82	一般開架
22	なんにもなかった 戦中・戦後の暮らしの記録 拾遺集戦後編		暮らしの手帖社	2019	916/92	一般開架
23	戦争が立っていた 戦中・戦後の暮らしの記録 拾遺集戦中編		暮らしの手帖社	2019	916/92	一般開架
24	私の戦旅歌とその周辺	伊藤 桂一著	講談社	1998	916/イケ 1	一般書庫
25	少年の日の敗戦日記 朝鮮半島からの帰還	岩下 彪著	法政大学出版局	2000	916/イタ 2/2	一般書庫
26	上海陸軍病院 一従軍看護婦の回想	市川 多津江著	潮書房光人社	2013	916/イタ 5	一般開架
27	55年前、世界に戦争があった 青春を戦火に埋めた兵士の記録	植松 仁作著	光人社	1998	916/ウシ 1	一般書庫
28	青年医学徒の沖縄戦回想記	遠藤 幸三著	橋本確文堂	2000	916/エロ 2	一般書庫
29	絵草紙日中戦争	江先 光文と絵	叢文社	1999	916/エヒ 1	一般書庫
30	六歳の見た戦争 アッツ島遺児の記憶	榎本 好宏著	角川学芸出版	2009	916/エロ 1	一般開架
31	大阪砲兵工廠の八月十四日 歴史と大空襲	大阪砲兵工廠慰霊祭世話人会編	東方出版	1997	916/オホ 1	一般書庫
32	海鳴りの響きは遠く 宮城県第一高女学徒勤労働員の記録	神谷 恵美子監修	草思社	2007	916/カエ 2	一般開架
33	昭和二十年夏、僕は兵士だった	梯 久美子著	角川書店	2009	916/カク 1	一般開架
34	昭和二十年夏、女たちの戦争	梯 久美子著	角川書店	2010	916/カク 2	一般開架
35	硫黄島戦記 玉砕の島から生還した一兵士の回想	川相 昌一著	光人社	2007	916/カシ 4	一般書庫
36	日中戦争一兵士の証言 生存率3/1000からの生還	川崎 春彦著	光人社	2001	916/カハ 1	一般書庫
37	軍国少年がみたやんばるの沖縄戦 イクサの記憶	宜保 栄治郎著	榕樹書林	2015	916/キエ 3	一般開架
38	野戦の思い出 南支・マレー・ビルマ・ボルネオ太平洋戦争体験記	岸野 愿著	知玄舎	2006	916/キス 1	一般開架
39	南方特別留学生が見た戦時下の日本人	倉沢 愛子編著	草思社	1997	916/クア 1	一般書庫

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
40	戦争時代の光芒 ある学徒出陣慶大生の日記	忽那 静夫著	ブックコム	2012	916/クシ 4	一般開架
41	今日われ生きてあり 知覧特別攻撃隊員たちの軌跡	神坂 次郎著	新潮社	2019	916/コシ 3	一般開架
42	ヒロシ君と戦争 わが軍国少年の頃	小沢 浩著	桂書房	1999	916/コヒ 1	一般開架
43	戦争聞き歩き 生きてます	阪野 吉平著	新風舎	2004	916/サキ 1	一般開架
44	白梅 沖縄県立第二高等女学校看護隊の記録	白梅同窓会編	クリエイティブ21	2000	916/シト 1	一般書庫
45	戦争紀行 ためつすがめつ一兵士が見た日中戦争の実体	杉山 市平著	いりす	2007	916/スイ 2	一般開架
46	灼熱の迷宮から。ミンドロ島から奇跡の生還、元日本兵が語る平和への夢	中野 重平著	熊谷印刷出版部	2005	916/ナシ 2/2	一般開架
47	天草へ帰った被爆者 聞き書き	中原 澄子著	創言社	2005	916/ナス 1	一般開架
48	天草へ帰った被爆者 聞き書き 続	中原 澄子著	創言社	2005	916/ナス 1/2	一般開架
49	陣中日誌 日中戦線昭和13年・14年	中村 常賢著	刀水書房	2007	916/ナツ 1	一般開架
50	悲惨な「シベリヤ」抑留とおまけの人生	名田 敏雄著	育英図書	1992	916/ナト 2	一般開架
51	帝国海軍の最後	原 為一著	河出書房新社	2011	916/ハタ 2	一般開架
52	軍艦「鳥海」航海記 平間兵曹長の日記昭和16-17年	平間 源之助著	イカロス出版	2018	916/ヒケ 1	一般開架
53	予科練の戦争 戦争を生き抜いた元少年航空兵たちの証言	久山 忍著	潮書房光人社	2016	916/ヒシ 4	一般開架
54	人間爆弾と呼ばれて 証言・桜花特攻	文藝春秋編	文藝春秋	2005	916/フシ 1	一般開架
55	ラバウル艦爆隊始末記	松浪 清著	光人社	2008	916/マキ 2	一般開架
56	国策満蒙開拓青少年義勇軍始末記	村上 隆夫著・編	日本図書刊行会	2001	916/ムタ 1	一般開架
57	特攻兵器蛟龍艇長の物語 玉音放送下の特殊潜航艇出撃	宗像 基著	社会批評社	2007	916/ムモ 1	一般開架
58	13歳の関東軍兵士 ヤポンスキー・マーリンキ・ソルダートの日々	山岸 重治著	川辺書林	2012	916/ヤシ 1/12	一般開架
59	ラバウル航空隊の最後 陸攻隊整備兵の見た航空戦始末	渡辺 紀三夫著	光人社	2002	916/ワキ 1	一般開架
60	竹林はるか遠く [正]	ヨーコ・カワシマ・ワトキンス著&監訳	ハート出版	2013	916/ワヨ 1	一般開架

<千葉県民が体験した戦争>

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
61	手紙が語る戦争	女性の日記から学ぶ会編	みずのわ出版	2009	21074/120	一般書庫
62	戦時下の母 「大島静日記」10年を読む	島 利栄子著	展望社	2004	2891/オシ 7	一般書庫
63	ビルマの名将・桜井省三 泥まみれの将帥その生きざまの記録	上条 彰著	戦誌刊行会	1992	2891/サセ 2	一般書庫

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
64	戦場に散った兄に守られて 軍国主義時代に青春を送りし	石田 邦夫著	コールサック社	2008	916/イ1	一般開架
65	絵日記にみる「少国民」昭子	宮田 玲子[著]	草の根出版会	2005	916/ミ1	一般開架
66	学校が兵舎になったとき 千葉からみた戦争一九三一一四五	千葉県歴史教育者協議会編集	青木書店	1996	C207/1	郷土開架
67	永遠の平和 千葉の「戦後70年」を歩く	東京新聞千葉支局編著	崙書房出版	2015	C207/10	郷土開架
68	千葉の戦後70年 語り継ぐ戦争体験	大和田 武士編著	たけしま出版	2016	C207/11	郷土開架
69	鎮魂 終戦七十周年記念誌		銚子市遺族会	2017	C207/12	郷土開架
70	飢餓との闘い 買い出し体験の記録	創価学会青年部反戦出版委員会編	第三文明社	1978	C207/3	一般書庫
71	平和の黎明 四番片貝民間防空監視哨秘録	古川 幸男著	[古川幸男]	1995	C225/F03-3	郷土開架
72	成東駅爆破 終戦二日前惨事記録集	春秋倶楽部編集	春秋倶楽部	2005	C225/F06-11	郷土開架
73	二度目の着地 平和と友好を願って	B29元機長夫妻を迎える会編集	B29元機長夫妻を迎える会	1998	C234/J08-2	郷土開架
74	平和への思い		千葉県退職女性教職員の会(房総の会)八咫支部	2006	C96/10	郷土開架
75	あなたは戦争を知っていますか 記憶を風化させないために		千葉県高等学校教職員組合	2001	C96/11	郷土開架
76	伝えたいこと 記憶を刻み二度と悲惨な戦争を繰り返さないために		和泉書房	2010	C96/12	郷土開架
77	銚子空襲 市民の記録	銚子市役所企画調整部市史編さん室編集	銚子市役所	1974	C96/13	郷土開架
78	桐の華 戦時救護体験記録集	日本赤十字社千葉県支部戦時救護体験記録集編集委員会編集	日本赤十字社千葉県支部	1992	C96/14	一般書庫
79	戦争体験記 戦争の悲惨さと平和の尊さを語る	秘書広報課広報広聴係編集	大網白里町	2003	C96/3	郷土開架
80	時代を超えて 語り継ぐ平和の祈り・戦争体験記録集	総務課編集	八日市場市	2000	C96/5	郷土開架
81	語り部がつづる郷土の戦時物語	語り部がつづる郷土の戦時物語編纂委員会編	[千葉日报社]	2000	C96/6	郷土開架
82	あなたに送る平和へのメッセージ 戦後60年記念誌	千葉県健康福祉部健康福祉指導課編集	千葉県健康福祉部健康福祉指導課	2006	C96/7	郷土開架
83	いのち 戦争の語りべ達から		千葉県退職女性教職員の会(房総の会)旭支部	2011	C96/8/11	郷土開架
84	漫画戦争体験記/第1話 私の戦時体験	堤 輝彦編集	神崎町教育委員会	2008-2010	C96/9	郷土開架
85	ビルマ戦線従軍物語	石毛 比呂志著	千葉交友倶楽部	2006	C96/イ1	郷土開架
86	朝が来て知る捕虜の命 シベリア抑留生活千余日	佐藤 友治著	文芸社	2002	C96/サ1	一般書庫

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
87	聞き書きヒロシマ・メモリー 千葉県我孫子に生きる被爆者	自治労我孫子市職員組合編	斎書房	1982	C96/シア1	一般書庫
88	白樺の灯 戦後五十年追想記	柴内 貞夫著	柴内貞夫	1995	C96/シサ1	一般書庫
89	日記 東京大空襲被災からの一年	福田 元二著	福田誠	1995	C96/フモ1	一般書庫
90	あの頃	三嶋 道子著	創英社	2012	C96/ミミ1	一般書庫
91	21世紀の君たちへ・伝えておきたいこと 第二海軍航空廠からみた軍国日本の膨張と崩壊	山崎 庸男著	うらべ書房	2006	C96/ヤノ2/07	一般書庫
92	レイテの星よとわに 陸軍少佐渡辺竹司の青春	渡辺光治著	渡辺光治	1995	C96/ワミ1	郷土開架
93	ある主計下士官の手記	藤城 友吉著	藤城さた	1991	CA91/2	一般書庫
94	泰山	柏熊 静編著	講談社出版サービスセンター(製作)	1991	CA91/6	一般書庫



<日記・記録・雑誌などから見る戦時下の生活>

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
95	「写真週報」に見る戦時下の日本	保阪 正康監修	世界文化社	2011	2107/264	一般開架
96	ひと目でわかる「戦前日本」の真実 1936-1945	水間 政憲著	PHP研究所	2014	2107/293	一般開架
97	戦時日本の国民意識 国策グラフ誌『写真週報』とその時代	玉井 清編	慶應義塾大学出版会	2008	21074/104	一般書庫
98	『写真週報』とその時代 上	玉井 清編著	慶應義塾大学出版会	2017	21074/159/1	一般開架
99	『写真週報』とその時代 下	玉井 清編著	慶應義塾大学出版会	2017	21074/159/2	一般開架
100	資料が語る戦時下の暮らし 太平洋戦争下の日本:昭和16年-20年	羽島 知之編著	麻布プロデュース	2004	21075/198	一般開架
101	疎開・空襲・愛 母の遺した書簡集	松尾 光編著	笠間書院	2008	21075/348	一般書庫
102	神国日本のトンデモ決戦生活 広告チラシや雑誌は戦争にどれだけ奉仕したか	早川 タダノリ著	合同出版	2010	21075/376	一般書庫
103	戦時期の労働と生活	法政大学大原社会問題研究所編著	法政大学出版局	2018	21075/536	一般開架
104	戦時生活と隣組回覧板	江波戸 昭著	中央公論事業出版(発売)	2001	21361/22	一般書庫
105	総動員の時代 私たちはこうして戦争に呑みこまれた	岡山・十五年戦争資料センター編	吉備人出版	2005	2175/10	一般書庫
106	マサコの戦争	大脇 雅子著	講談社	2004	2891/オマ6	一般書庫
107	証言日本最後の学童集団疎開	浅利 政俊編著	幻洋社	1994	37211/1	一般書庫
108	史料が語る太平洋戦争下の放送	竹山 昭子著	世界思想社	2005	69921/20	一般書庫
109	たえがたき・を・たえ 母娘の戦争生活記録	Iの会著	PMC出版	1982	916/A25	書庫CL
110	太平洋戦争銃後の絵日記	青木 正美編	東京堂出版	1995	916/TA22	書庫CL

No.	書名	著者	出版者	出版年	請求記号	場所区分
111	ある中学生の戦中日記 阪神空襲実録	高瀬 湊著	東方出版	1991	916/TA53	書庫CL
112	三年生の学童疎開戦記	山田 清次著	近代文芸社	1994	916/Y19	書庫CL
113	太平洋戦争下の学校生活	岡野 薫子著	平凡社	2000	916/オカ1	一般書庫
114	少女の記録、あの頃 1935— 1945.8.15&2001.9.11	川島 敦子著	講談社	2006	916/カア 1/2	一般開架
115	少国民たちの戦争 日記でたどる戦中・戦後	志村 建世著	社会批評社	2010	916/シタ2	一般開架
116	あの頃のこと 吉沢久子、27歳。戦時下の日記	吉沢 久子著	清流出版	2012	916/ヨヒ1	一般開架
117	写真週報 第百七十五号 (1941年7月2日)		情報局	1941		中央雑誌
118	写真週報 第百九十九号 (1941年12月17日)	期間の前半(～8月21日頃)に展示します。	情報局	1941		中央雑誌
119	写真週報 第二百三十一号 (1942年7月29日)		情報局	1942		中央雑誌
120	写真週報 第二百七十九号 (1943年7月7日)	期間の後半(～9月18日)に展示します。	情報局	1943		中央雑誌
121	写真週報 第二百九十七号 (1943年11月10日)		情報局	1943		中央雑誌
122	写真週報 第三百二十七号 (1944年6月28日)		情報局	1944		中央雑誌

中央雑誌: 県立中央図書館(千葉市)所蔵
それ以外は県立東部図書館所蔵

【『写真週報』とは】

1938(昭和13)年2月16日から1945(昭和20)年7月11日まで、内閣情報部(のち内閣情報局)により刊行されていた週刊のグラフ雑誌です。戦意高揚を目的とした広報宣伝政策の一環として、政府により370冊が発行されました。

千葉県立図書館では、中央図書館で所蔵しています。(欠号あり)

また、国立公文書館 アジア歴史資料センターホームページでは、創刊号から1944(昭和19)年12月20日付の352号までの351冊を画像資料として閲覧することができます。

(参考: アジア歴史資料センター特別展「『写真週報』にみる昭和の世相」

<https://www.jacar.go.jp/shuhou/home.html>)

千葉県の戦争関連資料を調べるツールとしては、パスファインダー(調べ案内)「千葉県の「戦争遺跡」を調べる」があります。合わせてご利用ください。

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/reference/pathfinder/index.html#chiba>

